

2022 年度実施概要

学校名

静岡県立静岡城北高等学校

採択活動名

新学習指導要領の高校「地学基礎」において、オンラインにより入手可能な情報資源を活用した海洋教育の展開

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 大気と海水の運動・地震火山活動・地球環境の科学（これら全般での海洋科学研究について相互に関連付け。詳細は学習内容報告書を参照）	1	理科
2.		
3.		

取り組みの概要

オンラインにより入手可能な情報資源を活用した海洋教育を展開した。

- 「大気と海水の運動」「地震火山活動」「地球環境の科学」の各単元において、インターネットを利用して気象庁・JAMSTEC・NOAA 等の研究資料を入手し、授業中に解説し、関連資料の印刷配布を行った。（著作権に配慮しあくまで授業の理解のために利用）
- インターネットニュースサイトを利用し、年間を通じて海洋科学に関係したニュースがあったとき、情報の提供に努めた。（例：北海道知床沖の観光船の事故と波浪・海流の関係 等）
- 海洋科学と関連があるニュースをインターネットを利用して学習させた。インターネットを利用して、昨年のトンガ沖海底火山噴火の資料を取り寄せており、噴火軽石の実物を見せ、インターネットを利用して当時のニュース映像も交えて、海流と軽石の運搬の関係について解説した。その他の件については学習内容報告書参照
- 今年度、夏休みを利用して静岡県の事業で東日本大震災の津波被災地に研修に行った生徒が2名あった。津波も日本の沿岸部で発生する自然現象であり、その理解は重要である。津波の被害について、海洋科学の知見に基づいて科学的に理解させるため、インターネットの情報を活用して発表資料を作成し1・2年生の集会の場で、発表させた。なおこの活動に関しては当初、近隣小学校等への対外的な公表を目標にしていたが、連携先との時間調整が整わず結果として校内のみの公表にとまどった。しかし、本校の1・2年生全員（3年生は受験対策の別の集会あり）に、話を聞かせることができたことにより学習は全校に広まった。
- 海洋科学研究の科学者によるオンライン遠隔授業を実施した。当初計画では1年生6クラス各1回ずつ講義の予定であったが、講師の熱意もあり学校の日程の調整ができたので2クラスのみ2回の講義を別の講師に依頼（講義数述べ8回）することができた。

活動中の写真を2～3枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Wordに貼り付けた場合も 元データの画像ファイル を提出してください。

フォルダにまとめ、ファイル名をどんな活動をしている際の写真なのかわかるよう変更してください。

フォルダ名は「2. 実施概要_写真_〇〇学校」としてください。



轡田先生講義 2



轡田邦夫先生遠隔講義 1 画面



立花義裕先生遠隔講義 1 挨拶



立花先生講義 2 質疑応答